



甲斐 知恵子 (KAI Chieko)

東京大学医科学研究所 教授

東京大学農学部卒業、
東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。
農学博士。

日本学術振興会奨励研究員、東京大学医科学研究所助手、スウェーデンカロリンスカ研究所博士研究員、東京大学農学系研究科助教授を経て 1999 年より現職。

東京大学医科学研究所実験動物施設長、同奄美病害動物研究施設長、同ヒト疾患モデルセンター長、同副所長を歴任。

研究テーマは、RNA ウイルスの病原性発現機構、動物とヒトのウイルスの宿主決定機構の解析、難治性感染症やエマージングウイルス感染症に対する治療・予防法の開発。エマージングウイルスであるニパウイルスについては、遺伝子から感染性ウイルスの合成に世界で初めて成功し、病原性発現を規定する分子機構の研究をリードしている。また、応用研究としてウイルスベクターを用いた多価ワクチンや腫瘍溶解性癌治療法の開発にも取り組んでおり、現在橋渡し研究を推進している。

主な著書に『動物の感染症学』（近代出版）、『獣医伝染病学』（近代出版）、『獣医微生物学』（文永堂出版）、『動物の免疫学』（文永堂出版）、『環境リスクマネジメント』（朝倉書店）、『生物学辞典』（岩波書店）、『新明解獣医学辞典』（緑書房）、『Viral Application of the GreenFluorescent Protein』（The Humana Press）など。（いずれも共著）。

日本学術会議会員、日本ウイルス学会理事、日本実験動物学会理事、日本獣医免疫研究会会長、国立大学動物施設協議会会長。